



# 資料館だより

No.40  
2012年  
4月号

過去と未来がひびきあう

—ようこそ、エコミューズへ。

[www.aozora.or.jp/ecomuse/](http://www.aozora.or.jp/ecomuse/)

あおぞら財団 西淀川・公害と環境資料館  
エコミューズ

## エコミューズ 利用者の声

### 入江智恵子さん

公害反対運動「冬の時代」を乗り越え、日本の環境運動の新しい時代を切り拓いた西淀川の運動。私は、この運動が誰によって、どのように担われてきたのかについて組織論・運動論の観点から研究してきましたが、先日、西淀川公害患者と家族の会が同時代に大阪で展開された様々な社会運動団体とネットワークを作りながら発展してきた歴史を、博士論文としてまとめることができました。40年に及ぶ患者会運動の歴史を整理する上で重視したのは、運動が壁にぶつかったor乗り越えたその時々々の状況を、できるだけ「追体験」することです。エコミューズの所蔵資料は、裁判記録などの公式文書のほかに、手書きのレジュメや会議資料、打合せメモといった一次資料も豊富で、私のこうした思いを叶えてくれるものでした。…最後に、博士論文の作成にあたってご協力いただいた、患者会、あおぞら財団(エコミューズ)の関係者の方々に、この場をお借りしてお礼申し上げます。

### 四日市と水島の公害裁判資料整理スタート

(独法)環境再生保全機構の業務で、「記録で見る大気汚染と裁判」のホームページで四日市と倉敷・水島の裁判資料を紹介することとなりました。2月11日は四日市の資料整理を四日市再生公害市民塾のみなさんと、12日は倉敷・水島の資料整理をみずしま財団のみなさんとおこないました。

どの資料を1点と数えるか、表題はなにか、作成者はだれか、内容はなにか、作成年月日がどこに書いてあるか、細かく細かく資料を見て、目録に取る作業に、みなさん驚かれています。目録をきちんととると、どのような資料があるかが分かりますし、忘れられていたことが明らかになります。

「この資料からこういうことが分かります。おもしろいですね!!」「このイラスト貴重ですね!! 良い味だしてます!!!」と、私の目がハートマークになり、喜んでいる姿を見て四日市の方々も、水島の方々も珍しいものを見ている目に…「資料がそんなに面白いなんて…」と驚いておられました。資料LOVEな気持ちが広がればいいなあ。資料が整理されて、公害の事が広く伝わる環境が整えば…と願っています。(林)

## 大阪の歴史、調べるお手伝いをします

大阪歴史資料NAVI <http://www.historyosaka.jp/>



大阪の歴史を調べたいけれど、どこに行ってもいいのかわからない…っていう悩み、ありますよね?? そんな悩みにお答えできるようなWebサイトを作りたいと、桃山学院大学の共同研究プロジェクト地域資料研究会では検討を重ねてきました。一応、4月から仮オープンと言う形でWebサイトができました。エコミューズも参加しています。

このWebサイトは、ウィキペディアのように、多くの人が参加して情報を更新していきたいと考えています。協力してくれる人募集中です。

## 西淀川公害スタディツアーのWebサイト



<http://www.studytour.jpn.org/>

2011年夏に開催したスタディツアーの情報をまとめました。企業や行政へのヒアリングや、参加者による地域への提言、熱い思いがあふれた事後レポートなど、公害教育の持つ可能性が実感できる仕上がりになっています。公害の今を知りたい人も、公害教育を知りたい人も是非ご覧ください。

もりもとまきの



# アーキビストの目

★★★所蔵資料紹介★★★

西淀川と阪神・淡路大震災  
—写真が伝える、大きな被害—

1995(平成7)年1月17日に発生した阪神・淡路大震災は、西淀川にも大きな被害をもたらしました。エコミューズでは、そのようすを伝える写真資料を約500点所蔵しています(北山良三氏資料)。

西淀川の被害の存在は、神戸市や阪神間の壊滅的な被害に隠れ、忘れられた被災地となり、1月25日ようやく大阪市に災害復旧本部が設置されるなど、行政の対応も立ち遅れました。まちの日常、ひとびとの暮らしを一変させた阪神・淡路大震災。1枚1枚の写真が、忘れてはならない記憶を伝えています。



道路上の地割れ (No. 119)



住宅地の液状化 (No. 354)



軒先に積まれた瓦礫 (No. 140)



福港堤防の地割れ (No. 255)

アーキビストとは、文書や資料の収集・整理・保存に関わる専門家のことです。



## こんにちは新着図書です

井上有一、今村光章編『環境教育学』

法律文化社、2012年

この本では、これまでの環境教育は「持続可能な社会の実現」という課題に正面から向き合ってきたのか、これから貢献できる環境教育になるためにはどうすればいいのかを様々な方面から検討しています。その検討の中に「公害教育」としてエコミューズが行ってきた「公害地域の今を伝えるスタディツアー」が取り上げられ、公害教育が持つ現代的な意味が論じられています。「環境教育にとり社会批判性(社会問題にかかわる解決志向性)の重要であることが改めて指摘された」として、「社会変革に向けた関心が、1人ひとりの生き方、とりわけ、市民社会にみられる相互扶助や連帯といった「共」の文字で象徴される人間関係がもたらす存在の豊さに切り離すことのできないかたちでかわり、その実質をつくりだしている」と公害教育が、今日において必要である事が語られています。エコミューズでやってきた事が、この様な形で評価されてとてもうれしいです。(林)

## \*お知らせ\*

エコミューズ活動資金  
【ハモン基金】  
寄付協力をお願い

エコミューズを支えてください。あなたの寄付金は青空へつながります。

●寄付の方法

郵便局からお振込いただけます。また、直接エコミューズにお越しいただいても結構です。

【口座番号】  
10960091  
【口座】十万円／一万円／千円

【加入者名】あおぞら財団  
※通信欄に「ハモン基金への寄付」とご記入ください。一口の金額はお選びください。

ボランティア隊

「エコミューズ★」募集

あなたも「エコミューズ★」に入っちゃおう！資料整理や展示、イベントの手伝いなど、活躍の場がいっぱいです。交通費●実費支給(上限2000円) どうぞお気軽にお問い合わせください。

## 編集後記

エコミューズを利用して、卒業論文や修士論文などを書かれている人がいます。今号ではそのお一人、博士論文を書かれた入江智恵子さんに登場していただきました。エコミューズはこうした利用者さんに支えられています。入江さん、ありがとうございます。そして、お疲れ様でした。(Y)

資料館だより No.40  
2012年4月号(季刊1日、年4回発行)

発行所 あおぞら財団附属  
西淀川・公害と環境資料館  
(エコミューズ)

連絡先 大阪市西淀川区千舟1-1-1  
あおぞらビル5F(〒555-0013)

TEL:06-6475-8885 FAX:06-6478-5885

Email: webmaster@aozora.or.jp

http://www.aozora.or.jp/shiryou/



エコミューズは  
青空を未来へ手渡す記録のひろば

西淀川の公害・環境、地域に関する記録資料や環境学習の教材・ビデオなどが豊富です。ぜひご利用ください

開館●月曜日、金曜日(祝日は休み)

10:00AM~5:00PM [要予約]

利用●図書の貸し出し期限は2週間

書庫資料や裁判記録は閲覧のみ